

つるせ西だより



～今月の特集～
今知りたい聞きたい!
コロナQ&A

第154号(7・8月合併号)2020. 8. 1

編集:鶴瀬西交流センターだより編集委員会

発行:富士見市立 鶴瀬西交流センター

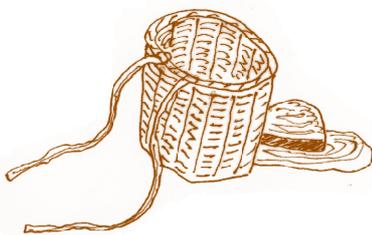
〒354-0021 富士見市大字鶴馬3575-1 TEL:049-251-2791 FAX:049-255-9707

地域の百景 24

田植えの季節になると今も思い出すのは、60年前の故郷の田植え。当日は近所の人の手も借りて家族総出で祭のようなにぎやかさで作業を行いました。それでも二日三日掛ったものでした。今では、一人で田植え機を使って一日で終わってしまうそうです。5月中旬に主人と気晴らしに難波田城の近くの農道を車で通った時、田植え機を見事に操作している女性を見かけたのでは、言って小柄な方でした。その女性は柳川さんと柳川さんは、17年前にご主人を亡くされたから、田植え機の操作を皆さんに教えて

田植え 昔と今

田植え日を 明日に控えて 苗籠の古びた紐を 解きつけなおす



もらい今では、田植え機が古いけど調子が良いときは4反の作業はすぐ終わるので「田植えからお米ができるまで頑張っている」と話してくれました。私も新型コロナウイルス感染予防の自粛生活に負けずに「ガンパロー」とパワーをもらったような一日でした。

5月中旬の田植えからちょうど1か月、苗は大きく、立派に育っていました。9月中旬ごろには黄金色の稲穂が実り、美味しいお米ができることでしょう。

(撮影・文・短歌／川村編集委員)

まちかどウォッチング

炎天下、働く人に感謝

雨天になると、常々気になるのは道路の排水や路面の水溜り。水溜りでは飛沫を立てて走り去る車には閉口する。待たれた自宅付近の市道5209号線の修繕工事。209号線は6月4日より暫くの間、関沢の県道三芳・富士見線の交差点から延長24mの左右にスリット型側溝が設けられ、7月末までにはアスファルト舗装が施されるとのこと。梅雨とは思えない炎天下での作業、本当にご苦労様です。(川上)



職員異動のお知らせ

5月1日付で佐々木香主任が異動し、熊あゆみ主任が配属になりました。

よろしくお願ひします。